



# 産土



彦島八幡宮社報  
第44号



## 明浄正直勤務追進

宮司 柴田 宜夫

平成二十五年の清々しき新年をすぎ、謹んでお慶びを申し上げます。年頭の言葉を「明浄正直勤務追進」としました。八百通あまりの年賀状、表の住所と御芳名については文明の利器である「からくり印刷機」、パソコンの「筆ぐるめ」というソフトを大いに活用させて頂きました。しかし、裏面は、水筆(みずすき)の跡が、麗しくはありませんが、墨書させて頂きました。全部で十五種類、自筆したものを、三千枚ないし四千枚程度、オフセットの印刷機、輪転機で印刷しました。「大和心」「神喜地喜人喜」「則天去私」「日清日新日進」「飛龍乗雲」「天長地久」「柏葉寿」「日々是好日」「四海生春風」「恭頌新祈」「賀新正」「延寿万歳」「祥雲瑞氣」「麗新」「三感四恩」「明浄正直勤務追進」の十六種類です。特に「明浄正直勤務追進」を一番多く印刷しました。

我々日本人の祖先は、「神の心」に近づき、「神の心」を忘れないで日々生活をする事を人生の大目標にしていたのです。では、「神の心」とは何かという、明く清らかな誠の心なのです。そこで今からおおよそ千三百年前、天武天皇様は、「神の心」に近づく事を「明浄正直」、「神の心」を忘れないで生活する事を勤務追進とお示しになったのです。「明」は、晴れやかで明るい心、淨は、澱よどみのない澄み切った清らかな心、正は、嘘や偽りのない公明正大な心、直は、傾かない真直ぐな強い心です。この四つの心に近づく努力が大切です。そして、「勤」は世の為人の為に活動をする、「務」は、自分の事は自分でする、「追」は、時代の流れや様々の競争に遅れない、「進」は、その競争に常に一歩前に進んでいるよう努力する事なのです。従って会社、工場、お役所、それぞれの仕事を勤めると、「勤務」とは、自分の事のみならず、公共の福祉を増進するという高い理想を掲げて世の為人の為に尽くす事になるわけです。まさに、「尽私生公(じんしせいこう)」、運命共同体としての地域社会の一員であるという自覚を忘れずに、自分の与えられたことに一生懸命に尽くすという生き方はないでしょうか。

「明浄正直 勤務追進」で生活をするためには、やはりその気持ち(か)からささない、「気が枯れる」事が「テガレ」でありますから、常に心を清らかに保つ事が大事です。

「よみがえり」「生まれ変わり」というものを神社神道では、大切にしてきました。「甦り(よみがえり)は、更に生きる」という漢字です。また、「黄泉の国よみのくに、死後の世界」から帰る、「黄泉帰る」の事で、生き返るといふ説もあります。

実は、黄泉の国から命からがら逃げ帰られた伊邪那岐命(いざなぎのみこと)が、真つ先にされたのが、「禊(みそぎ)」、身を清められた、お祓(はら)いをされたのです。

朝に祈り、夕べに感謝という生活こそが、日々の「お祓い」であり、「神の心」に近づき生活をする第一歩のような気がします。「明浄正直 勤務追進」を心がけ、「気持ち」を枯らさずに、日々清々しく生活したいものです。

さて、今年の干支(えと)を占ってみましょう。平成二十五年は、癸巳(みづのとみ)の年であります。本年は、水の支配する年回りの二年目、最後の年となりますが、水滴(すいてき)・雨露(うろ)・小流(しょうりゅう)の水です。柔らかな静々(しずしず)とした水の動きですね。癸は、「き」と読み、揆(き)はかるの意味)を語源とし、成長を上げているという意味です。草木の種子の内部には含まれたものが、しだいに形づけれられて、その長さを測(はか)ることができるようになった状態です。巳は、「し」と読み、「やむ」という意味で、草木が繁盛の極限に到達した有り様、大いに栄えている状態です。十二支(じゅうにし)の第六番目で、動物では蛇に当てられています。巳は、「へみ蛇」の略であります。

長期デフレが続く目下GDPも下がりが、依然として失われた二十年からはい出せず、自信を失ったままです。円高をはじめとする「三重苦」一刻の猶予もないほど追い込まれ、事業の存続そのものに影響を与えかねない経営環境であります。癸巳(みづのとみ)の干支(えと)にあやかり、そのようなマイナスの要因が止(や)んで、好転させるような要因が次第に大きく形づけられて、さらに繁盛する、成長を上げるといふ物も心も豊かな年を願うものです。

日本は、品質管理、トヨタ生産方式、チームワーク、勤勉、一人一人のパワーを結集して、世界で二番目の経済大国を作ったのです。やはり、天武天皇さまの仰った心構え「明浄正直」と、その生活の目当ての「勤務追進」こそが、日本人のパワー復活の「みちしるべ」になるのではないのでしょうか。皆様方の更なる御多幸御繁栄を心からお祈り申し上げます。





# 社務目誌抄

—平成二十四年七月～十二月—

## ▼文月(七月)

九日 兼務社 六連島八幡宮七社祭



十日 末社 福浦金刀比羅宮月次祭  
十五日 末社 竹ノ子島天満宮例祭

全国氏子青年協議会 第五  
十回定期大会・総会  
(於、宮城県・ホテル松島大観荘)

二十二日 敬神婦人会境内清掃  
二十四日 兼務社 田ノ首八幡宮夏越祭  
二十五日 兼務社 六連島八幡宮夏越祭並びに戸別祓い  
二十七日 大被茅ノ輪奉製  
二十九日 本宮夏越祭前夜祭  
三十日 本宮夏越祭御神幸祭

三十一日 末社 海士郷恵毘須神社夏越祭

## ▼葉月(八月)

五日 まほろば学級  
十一日～十六日 神道家中元祭齋行



## ▼長月(九月)

一日 下関唐戸魚市場(株)参拝  
十日 撰社 若宮神社例祭



奉納平家踊り  
末社 福浦金刀比羅宮月次祭  
山口県住みます芸人どさけ  
んさん参拝



十八日 下関市敬神婦人会茶話会  
二十二日 秋分祭秋季祖霊祭  
二十三日 末社 貴布禰神社例祭  
秋季例大祭奉納グラウンド  
ゴルフ大会  
三十日 観月祭

日本酒を愉しむ会正式参拝

## ▼神無月(十月)

三日 下関西ロータリークラブ  
正式参拝



四日 兼務社 六連島八幡宮例祭  
前夜祭並びに湯立神事

三菱重工業(株)関造船所殉職  
者慰霊祭

五日 兼務社 六連島八幡宮例祭  
本殿祭御神幸祭



十三日 兼務社 田ノ首八幡宮例祭  
前夜祭  
兼務社 田ノ首八幡宮例祭  
本殿祭御神幸祭



十五日 敬神婦人会境内清掃  
舞子島八幡宮例祭  
神嘗奉祝祭  
十七日 下関市倫理法人会朝粥会参拝  
(経営者モーニングセミナー)  
十八日 本宮秋季例大祭前夜祭  
二十日 本宮秋季例大祭本殿祭御神幸祭  
二十一日 本宮秋季例大祭奉納の儀  
とこわか奉納会 物産奉納の儀  
無形民俗文化財指定「サイ  
上がり神事」齋行  
奉納剣道大会

二十八日 彦島八幡宮杯ソフトボール大会  
三十日 長崎興幹氏(彦島老町)  
懸崖菊花奉納  
献菊祭



## ▼霜月(十一月)

三日 明治祭  
六日 第二保育園七五三詣  
七日 立冬・衣替

十日 末社 福浦金刀比羅宮月次祭  
十五日 七五三祭

二十一日 下関市倫理法人会合同朝粥会  
二十三 新嘗祭  
二十四日 兼務社 六連島八幡宮新嘗祭  
二十五日 敬神婦人会研修旅行  
\*遠石八幡宮正式参拝



\*山崎八幡宮参拝



## ▼師走(十二月)

二日 大注連縄奉製・煉払式  
神社関係者忘年会

三日 祈漁祭

八日 氏子青年・維蘇志会神恩感  
謝祭・忘年会

二十三日 天長祭

三十一日 正月臨時巫女奉仕者説明会

大被式  
新守札清祓式

除夜祭

# 例大祭厳修報告 平成二十四年十月二十日～二十一日

本年御創祀八百五拾参年を迎える例大祭が厳かの中に滞りなく執り行われました。初日前夜祭には安倍代議士にご参列賜り、来賓を代表してご挨拶も賜りました。境内舞台では奉納演奏や奉祝もちまき、ピンゴ大会等々催し、ふく鍋をはじめとする各種バザー、参道沿いには露店が立ち並び大変賑やかでした。



翌日本殿祭当日は、祭儀に先立ち彦島歴史ウォーク、奉納剣道大会が開催されました。本殿祭には地元企業で結成された「こわか奉納会」の皆様方に各社の地元物産品をご神前にお供え賜りました。

午後から御神幸祭が執り行われ、神霊を奉じた御神輿が下関三井化学(株)様の構内にある御旅所にもむけ大行列を組んで子供神輿



とともに渡御致しました。御旅所において岸壁から汲んだ海水にて身を清める潮搔神事が斎行されました。境内に帰着後、彦島の原点である無形民俗文化財指定「サイ上り神事」が執り行われ、当宮創祀者河野通次をはじめとする彦島開拓の祖「彦島十二苗祖」を参列者一同偲びました。



ご奉賛、ご協賛、ご奉仕賜りました多くの皆様方に衷心より御礼申し上げます。兩日多くの参詣者で盛大且つ盛儀の内に執り収められました事をご報告申し上げます。有難うございました。



## 《例大祭奉納御協賛 会社ご芳名》

### ▼物産品

(有)もずくセンター殿、

(有)マルイチ彦島醸造工場殿、

(株)美栄水産殿、三池屋殿、

農水フーズ(株)殿、

(株)巖流本舗殿、(株)タイフク殿、

桃蔵水産(株)殿、中村屋殿、

(株)中冷殿、(株)ほんぼ殿、

牡蠣小屋流王殿

### ▼清酒「関娘」

(株)下関酒造

### ▼檜材

植田木材(株)

### ▼例大祭ふぐ鍋味噌

(有)マルイチ彦島醸造工場殿

### ▼例大祭ふぐ鍋豆腐

(株)彦島豆腐殿

### ▼臨時駐車場

下関三井化学(株)殿

### ▼臨時調理場設営

(株)副田工務所

### ▼照明設備設営

(有)タツミ電工

## 「祭務報告」秋季例大祭を終えて」



彦島八幡宮奉賛会  
行事委員長 和田 博

平成二十四年十月二十一日、日曜日北の風快晴、彦島八幡宮秋季例大祭の当日、私は晴れ晴れとした気持ちで神殿の前に立ち、心身共に清め秋季例大祭斎行の無事と安全を祈願した。私は今年度、彦島八幡宮奉賛会行事委員会におきまして、高橋勉 前行事委員長が御勇退され後任として行事委員長に就任致しました和田博でございます。

彦島八幡宮におきましては、年間祭典行事として建国記念祭、節分祭、夏越祭、秋季例大祭、そして一年の祭典行事を締め括る大注連縄おろし及び奉納奉告祭、その他四季折々の多くの祭典行事が斎行されております。今回行事委員長として初めて秋季例大祭斎行の総指揮を八幡宮職員及び高橋前行事委員長の御指導のもと執り行い、その難しさに大変苦勞致しましたが、何とか無事に斎行する事が出来ました。苦勞をした分、やりがいのある仕事であり、大祭終了後の満足感、又格別なものでした。関係各位の皆様にご感謝致し、御礼を申し上げます。第でございます。

さて、彦島八幡宮の歴史を遡りますと、今から八百五十三年前、彦島の海岸で御神体が引き上げられ、その御神体を祀った光格殿が建立され、後に彦島八幡宮となり、三年前、歴史的節目であります八百五十年の式年大祭が斎行されました。今、世界的な経済状況の不安定が続いている中で、日本国も長期的円高やデフレに影響を受け、非常に厳しい経済状況が続いています。その様な環境の中で国民は安らぎを求めて、日々平穏な生活を送ることも大切であると言ふ必要性を望んでいるのではないのでしょうか。この「心の安らぎ」を与えて下さるのが、彦島八幡宮であります。

今後とも年間を通しての祭典行事が無事に斎行出来ます様、維蘇志会、敬神婦人会、奉賛会、他関係各位の皆様と連携を計り最大限の努力を致す所存でございます。各地域町民の皆様におかれましては尚一層のご支援と、ご協力をお願い申し上げます。八幡宮の御加護を受け、神の恵みと祖先の恩とに感謝し、終生安らぎ平穏な生活が出来るよう念願する所でございます。末筆ながら、彦島八幡宮の彌栄長久を祈念し結びと致します。

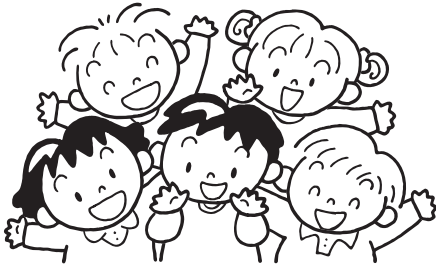
# まほろば学級 寄稿感想文



去る平成二十四年八月四日（日）、「まほろば学級」を開催致しました。

情操教育の一環として、下関市教育委員会の後援のもと開催致しましてお蔭様をもちまして第七回目を迎える事が叶いました。改めて趣旨で賛同賜りました関係各位の皆様方に厚く御礼申し上げます。参加児童から寄せられました感想文を掲載させていただきます。

彦島地区の小学校を通じて、夏季休暇前にご案内状を配布しております。一日という短い時間ではありますが、氏神さまの境内、鎮守の杜で楽しい時間を過ごしてみませんか。例年、八月第二日曜日に開催しております。



## 「まほろば学級」

大谷 優香

一年生の夏休み前に、初めて彦島八幡宮の「まほろば学級」の案内を見ました。「あんどん作り」に興味があわき、「まほろば」という言葉自体よくわかりませんでした。参加したいと思い、申し込みました。当日「まほろば」とはよい所という意味である事を最初に学びました。手水のやり方、参拜の作法、あんどん作り、初めてやる遊び、どれをとつてもいいねいに、優しく教えていただきました。朝から日が沈むまで一日があつという間に時間が過ぎてしまった事をよくおぼえています。

あれから六年がたちましたが、神様からいただいたごえんで、私は毎年参加させてもらいました。昼食のカレーや夕食のバーベキューは本当に楽しかったです。又、神社という場所で、暗くなつてから静かな参道を歩くあんどん行列は、ここでしか経験できません。忘れられない楽しい思い出になりました。最後にになりましたが、六年間本当にお世話になりました。ありがとうございます。

## 「楽しかったまほろば学級」

指原 彩晴

八月五日にまほろば学級に参加しました。今回で二回目の参加でした。初めて参加した四年生の時とても楽しい思い出があり、小学校最後の年にもう一度参加することが出来てとてもうれしかったです。

今回特に印象に残っている事が二つあります。宮司さんのお話とあんどん

作りです。先ず宮司さんのお話では「理想の人間」についての話です。人間を一字で書くと「仁」という文字で表すことができるそうです。「自分がやられて嫌な事は相手にしない」という意味が込められています。私は今まで、家族や友達に自分がやられて嫌な事をしたことがあるので、反省してこれからは十分気をつけたいと思いました。

次にあんどん作りですが、うれしい出来事が二つありました。一つ目は絵を描いている時に友達が「うまいねー」とほめてくれた事です。二つ目は、新しく友達ができたことです。学校は違いましたが、友達になれたので本当にうれしかったです。

日が沈む前に、みんなで食べたバーベキューがとても楽しかったです。友達と一緒に食べて、しかも神様に近い場所で食べたので最高に美味しかったです。暑い中、一生けん命作って下さった人にあらためて感謝します。

小学校最後の夏休みにまほろば学級に参加させてもらって、神社のお参りの仕方をはじめ、多くのことを教えていただきました。最後にになりましたが、ありがとうございます。

## 「楽しかったまほろば学級」

矢佐 美波

八月五日、まほろば学級に行きました。開校式では人が多いなと思いました。でも、人が多いほど、新しい友達もたくさん出来そうワクワクしました。

開校式が終わると記念さつえいをして、神社の歌や色々な歌を歌いました。私の知っている歌がたくさんあって、楽しく歌えました。教えてくれた先生

はすごく上手でした。

美味しいカレーの昼食をすませると、いよいよ私の一番たのしみになっていたあんどん作りのはじまりです。みんなが私の描いたあんどんの絵を参考にしてくれたから、うれしかったです。むずかしい作業は、私一人だけが、かなりおくらせて不安でしたが、友達やいことが手伝ってくれて、おかげで、ぶじに完成することができました。

あんどん作りを終えると、紙しばいを見ました。さまざまなジャンルの紙しばいがある、もつとみてみたいと思いました。とてもおもしろかったです。

宮司さんのお話は、とても心に残るものばかりでした。とくに、小林一茶さんの俳句の話が心に残りました。私にはお父さんやお母さんたちがいて、ちゃんとして教えてもらうことに感しゃして生きていきたいです。

楽しくワクワクしたゲームやバーベキュー、花火もついに終わり、あんどん行列も無事におみやまでさんしんできり閉校式になりました。あつという間の一日が終わるとき、さみしい思い出いっぱいでした。

まほろば学級を通してたくさんの方々ができました。別れぎわのさみしさが残りましたが、また会えるのを信じています。来年も参加し、良い思い出を今年以上にたくさん作りたいです。

みなさん、ありがとうございます。

## 「まほろば学級に参加しよう」

梶谷 咲永

八月五日にまほろば学級に参加しました。応募した理由は、一昨年に参加した際、あんどん作りが楽しかったから

す。昨年は、定員になりしめきられたので、今年こそはと思い応募しました。今年もやはり一番楽しかったのは、あんどん作りでした。私は工作が大好きです。今年はマイメロとトゥーティーを描きました。あんどん行列の時、暗やみの中、火を灯すとすごくきれいでした。ふだん神社の境内で過ごすことがないので色んな体験ができて充実していました。

今年で最後のまほろば学級でしたが、楽しい夏の思い出が出来てよかったです。最後になりましたが、みなさんありがとうございました。感じやっています。

「まほろば学級」

船井 彩佳

八月五日日曜日のまほろば学級の時は、本当にお世話になりました。ありがとうございました。

最初、手水の作法を教えてくださいましたので、次回彦島八幡宮におまいり来たときは成果を發揮したいです。

おみこし見学、境内散策では、初めて見るもの、初めて入る場所など貴重な体験をさせていただきました。雅楽演奏がある予定でしたが、最後のあんどん行列で歩くときに変更になりました。残念でした。次に神社の歌や童謡合唱がありとても楽しく歌うことが出来ました。お楽しみの昼食では、カレーライズがすごく美味でした。お腹いっぱいになった後は、あんどん作りをして、自分ながら上手に出来ました。つくり終えると、しおりに書いていなかったカキ氷を食べるとすごく美味しかったです。そして、紙芝居の鑑賞では、まだ知らない下関市の歴史などを知ることが出来、「なるほど」と良い勉強になりました。

宮司さんのお話では、ふだん何気なく言っている、何も思っていない「いただきます」の言葉の大切さがすごくよくわかりました。あまり話が長くなかったのも、まだ長くて聞けると思いました。わかりやすい話で勉強になりました。

パーベキューや花火では楽しい時間を過ごすことが出来、あつという間に暗くなりました。そして、自分で一生懸命作ったあんどんに火を灯し、雅楽演奏の中を八幡さんへお参りをして、午前中に練習した神社参拝唱歌を奉納して、閉校式、解散となりました。

あの時、最後に多くの関係者の皆さんに「ありがとうございました」とお礼が言えなかったことが、心残りだったので、作文にして郵送にしました。来年も是非参加させて下さい。ありがとうございました。

\*保護者の方からの一言を申し添えます。

朝早くから、夜遅くまで子供達の為に一生懸命指導お手伝い本当に有難うございました。

二児の母として考えさせられる事ばかりお話を伺うことができたので、来年も「まほろば学級」に参加できたら親子共々成長した姿をお見せできたら幸いです。

「まほろば学級に参加してみよう」

今泉 智綯

まほろば学級に参加する前は、他の学校の人たちもいるのでとても不安でした。でも参加したら、とても楽しく、他の学校の人たちとも仲良く友達になりました。

先ず最初に、「まほろば」の意味を覚えてもらって、ふだんききなれない言葉でしたが勉強になりました。八幡宮には色々な場所に神様が宿っているのだとわかりました。おかげさまの心が大事だと教えてもらいました。

神社参拝唱歌の歌はよくわかりませんでした。その他の童謡は知っている歌が多く楽しく歌うことが出来ました。

あんどん作りでは、色をぬったり、絵を描いたり、組み立てたりととても楽しかったです。そうぞう以上にきれいにできたので良かったと思います。参加したみんなも、上手にあんどんが作れていました。

パーベキュー前のゲームも楽しく、とくに、チャャーリーが登場するゲームは見ただけで楽しかったです。

パーベキューは、ほしいジュースが飲めてお肉も食べれて、とても美味しく満足でした。暑い中、お肉を焼いて下さった人たちに、とても感じやしています。花火では、ちよつとくさかったけど、楽しかったしきれいでした。

最後のあんどん行列はなんと行って感動しました。火を灯したあんどんは、とてもきれいで、紙に描かれたみんなの絵と同じようにきれいで、げんそうでした。

神殿に入り、神社参拝唱歌をちよつとだけ歌いましたが、でもまだわかりませんでした。

まほろば学級は、宮司さんもととても優しく、他の神主さんもおもしろい人がいました。とても良い人たちばかりでした。カレーライス、焼肉、カキ氷は最高に美味しかったです。とても楽しい一日でした。来年もまた行きたいです。

色々ありがとうございました。

「まほろば学級ゆい」

大谷 智久

あんどん作り二かい目です。絵をかき、なにかこうかとなやみましたが、大きなお日さまと大きな木にとまってる虫たちをかきました。じょうずにあんどんを組み立てられたので、うれしかったです。

昼ごはんのカレーライスや、夕ごはんのパーベキューもたのしみでした。すこしくらくなってから、花火をしました。とてもきれいで、たのしかったです。

くらくらくなってから、あんどんに火をつけ、あんどんぎょうれつをしました。今年人がおこったので、長いぎょうれつができました。あんどんのろうそくのあかりが、ゆらゆらゆれるので、気をつけてあるきました。

朝からばんまで長かったけど、たのしい一日でした。







八幡様の知恵袋 その二十六

シリーズ 伊勢の神宮式年遷宮について

日本人の心のふるさと、我國の総氏神様である伊勢の神宮(三重県伊勢市)では本年、第六十二回式年遷宮が斎行されます。二十一年に一度斎行されます我國における最大最重要の行事であり、社殿・装束・神宝等を新しくする祭祀行事をシリーズで紹介しております。平成十七年から各祭祀行事が進行中で、本年愈々正遷宮(御神体の渡御)が執行されます。今回はお白石持行事に次ぐ九月中に執行されます行事「御戸祭」、「御船代奉納式」、「洗清」、「心御柱奉建」、「杵築祭」です。



御戸祭



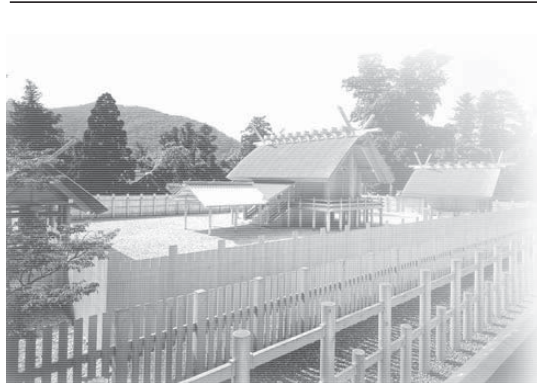
新殿に御扉を取り付ける祭儀。御扉が付くことは殿外造作の完了を意味します。建物の守護神である屋船大神をまつり、御扉に御鑰(樞錠を開ける鑰)の穴を穿ちます。

御船代奉納式



御神体の鎮まる「御船代」を正殿内に奉納する祭儀。

洗清



新殿竣工にあたり殿内を洗い清める祭儀。

心御柱奉建



正殿の御床下に建てられる特別な御柱である心御柱を奉建する遷宮諸祭の中でもひときわ重んじられてきた祭儀です。深夜の秘祭につき非公開にて執行されます。

杵築祭



新殿竣工に際し、御敷地である大宮地を撞き固める祭儀です。祭儀に先立ち、五丈殿で饗膳の儀を執行し、新殿の周りを巡り御柱の根本を古歌を唱えながら白杖で撞き固めます。

[写真提供:神宮司廳]

# 祭事暦

（平成二十五年上半期）



## 睦月（二月）



一日 初太鼓  
歳旦祭並びに新年拝賀

三日 元始祭

天皇陛下御親ら宮中三殿（賢所、皇靈殿、神殿）において皇位の始源を祝し親祭あそばされます。当宮においても皇位を祝寿する祭祀が執行されます。



十一日 兼務社六連島八幡宮歳旦祭

十三日 どんと焼き

※注意 正月飾は当日正午以降は受付致しかねます。

ご持参されてもお受けできませんので予めご了承下さい。

十五日 成人祭



## 如月（二月）

三日 節分祭追儺式

□開運福引大会  
□豆まき

※豆まきは、年男女（巳年廻り年）・厄年・年祝いに該 当するご参拝の皆様方にも本殿にて厄除祈願祭斎行後、豆まきをご奉仕していただけます。

〈初穂料五千円〉

上旬 横浜DNAベイスターズ  
必勝祈願祭

九日 初午祭

十一日 紀元祭建国奉祝祭

我国の初代天皇である神武天皇が橿原宮で即位された古えを偲び、建国創業の御神徳を景仰し、皇室国家の弥栄を祈念申し上げます。

十七日 祈年祭

「としごいのまつり」本年の五穀豊穡と皇室・国家の弥栄をご祈念申し上げます。



## 月次祭

毎月1日・15日

※本殿前にて皆様方に終日「御神供米」をおわかち致しております。

## 宮司講話会

毎月1日

※神社神道をはじめ時局問題、日本の伝統文化等々おりました話を宮司自ら講話致します。どなた様でもお気軽にご参加いただけます。

## 朝粥会

毎月21日 午前6時30分

※誕生月の方全員に玉串拝礼をしていただきます。四季折々のお粥をご賞味下さい。



皆様お誘いあわせの上、お気軽にご参拝下さい。



## 弥生（三月）

中旬 末社南風泊恵比須神社例祭

十三日 彦島八幡宮維蘇志会  
創立二十周年奉告祭

平成五年に創立組織された全国氏子青年協議会に加盟する青年部の奉仕団体。本年二十周年を迎えます。

二十日 春季祖霊祭

家の宗旨が神道の方の合同の先祖慰霊祭。

「自然をたたえ、生物をいつくしむ日」という「春分の日」を迎えるにあたり、自然万物に感謝の祈りを捧げる祭儀を斎行致します。





# 卯月 (四月)

## 一日 勸学祭

この春めでたく入学される新一年生の皆様の学業成就・交通安全・無病息災を祈願する新入学奉告祭を執り行います



## 八日 末社竹ノ子島金刀比羅宮例祭

## 九日 兼務社六連島荒神祭

## 十三日 末社舟島神社例祭

### 佐々木小次郎大人命慰霊祭

関門海峡守護神舟島神社の一年に一度の例祭を巖流島(舟島)にて斎行致します。巖流島の決闘より今年は四〇一年を迎えます。

## 下旬 彦島地区戦没者慰霊祭



激動の日々を経て、復興を遂げた昭和の時代を顧み、我国の将来に思いを馳せ、昭和天皇陛下のご聖徳をお讃え申し上げますとともに、ご皇室の弥栄と国家の繁栄を祈念致します



## 神前結婚式のご案内

### 鎮守の杜で美しく雅やかな結婚式を。

神前にて共に生きることを誓う、人生における最も重要な儀礼を、神聖な社殿で執行してみませんか。神道における最上の「産霊(むすひ)」行為を実践し、日本の伝統「和の心」を継承致しますよう。〇〇名様対応の披露宴会場もあり、隣接の神社会館「瑞鳳殿」にて挙行できます。

※詳細は社務所までお問い合わせ下さい。



# 皐月 (五月)

## 上旬 末社塩釜神社例祭

彦島塩浜町には、江戸時代後期までに塩田があり塩の製造が行われていました。その塩田の守護神として塩竈神社がまつられた経緯があります。

## 十九日 末社福浦金刀比羅宮百八十四年例祭

御神幸祭最大の見せ場である「海中練り歩き」が全国的にも有名です。



# 水無月 (六月)

## 十日 末社海士郷恵美須神社例祭

※神占神事において、彦島八幡宮夏越祭海上渡御の御座船(神輿をお載せする船)が選定される

## 中旬 末社貴布禰稻荷神社例祭 (老町)

## 三十日 大祓式



## お食事・仕出し(御弁当)はお任せ下さい

## 彦島八幡宮会館 瑞鳳殿の御案内

お友達やご家族との会食・披露宴、新年会、忘年会、歓送迎会、各種懇親会、年祭・法要等全てに対応しております。仕出し等の各種弁当もご用意できます。ご予算献立等詳細はご連絡下さい。完全予約制ですので予めご了承下さい。ふぐ、くじら、あんこう等々下関ならではの幸を使用した会席も、ご好評頂いております。  
(予約センター連絡先)  
TEL〇八三―一三三―四一〇七三三(午前十時三十分〜)  
※社務所にも受付けておりますのでお気軽にご相談下さい。

\*洋ホール二〜二〇〇名様まで対応

\*和室十二畳

(※六畳一部屋)

\*和室二十畳

(※十畳一部屋)

【和室会席の場合】

定員二十五名



### 平成25年(癸巳) 厄年・年祝表

(年祝)

上寿祝	大正 3年生(100歳)	数え年100歳のお祝い。
白寿祝	大正 4年生(99歳)	百から上の一を取ると白になり、数で云えば99である。
卒寿祝	大正13年生(90歳)	卒は略字で卒と書き九十と読む。
米寿祝	大正15年・昭和1年(88歳)	米は字をわけると八十八となる。
傘寿祝	昭和 9年生(80歳)	傘は略字で傘と書き八十と読む。
喜寿祝	昭和12年生(77歳)	喜は草書で喜と書き七十七と読む。
古稀祝	昭和19年生(70歳)	「人生七十古来稀なり」の漢詩にもとづく。
還暦祝	昭和28年生(61歳)	干支が丁度一巡し、誕生の年と同じになるので本卦返りともいう。

(厄年)

性別	年齢	前 厄	本 厄	後 厄
男	25歳	平成 2年生(24歳)	昭和64・平成元年生(25歳)	昭和63年生(26歳)
	42歳	昭和48年生(41歳)	昭和47年生(42歳)	昭和46年生(43歳)
	61歳	昭和29年生(60歳)	昭和28年生(61歳)	昭和27年生(62歳)
女	19歳	平成 8年生(18歳)	平成 7年生(19歳)	平成 6年生(20歳)
	33歳	昭和57年生(32歳)	昭和56年生(33歳)	昭和55年生(34歳)
	37歳	昭和53年生(36歳)	昭和52年生(37歳)	昭和51年生(38歳)

#### (八方塞がり)

皆様一人一人の生年月日により九つの星“九星”に区分され星回りが存在します。中央を基点に、北、北東、東、南東、南、南西、西、北西の方角をめぐり、九年に一度中央に入ります。これが八つの星(方位)に囲まれた状態である八方塞がりです。不安定な年とされ、より注意をしなければならぬ年です。

本年は**五黄土星**の方が該当致します。(以下に表記)

大正 3年、大正12年

昭和 7年、昭和16年、昭和25年、昭和34年、昭和43年、昭和52年、昭和6 1年

平成 7年、平成16年、平成25年

(七五三祝)

髪置祝	平成23年生の男女(3歳)	髪を伸ばし整え始めること。
袴着祝	平成21年生の男子(5歳)	男の子が初めて袴をはき始める年齢。
帯解祝	平成19年生の女子(7歳)	女の子が今までの紐付着物から帯を締める大人の着物に替える年齢。

#### 祈願祭(お祓い)は数え年でお受けしましょう。

「数え年」は、生まれた時点から1歳とし、新年を迎える度に1歳加えて行きます。

これは、正月に各家を訪れる年神様から1つ年を頂くというありがたい意味があります。

6月	1日(土)友引 25日(火)先負	13日(木)先負
5月	8日(水)先勝 20日(月)友引	
4月	2日(火)大安 26日(金)先勝	14日(日)先勝
3月	9日(土)仏滅 21日(木)大安	
2月	1日(金)友引 25日(月)仏滅	13日(水)仏滅
1月	8日(火)先勝 20日(日)友引	

彦島八幡宮は別名「子安八幡」とも称され、安産の神様としても崇められております。腹帯をお清めされ、安産祈願祭を斎行されますことをご案内申し上げます。

各自腹帯もしくはガードルをご持参下さい。当宮の安産守護の御朱印を押しさせていただきます。

古来より戌(犬)はお産が軽いとされることから、安産については、戌の日が吉日とされ、帯祝いなどにはこの日を選ぶ風習が伝承されております。懐妊五カ月が過ぎた最初の戌の日を選ぶ地方が全国的に多く見受けられます。

#### 安産祈願祭・腹帯清祓のご案内

発行所 **彦島八幡宮社務所**  
 下関市彦島迫町五丁目十二番九号  
 TEL 〇八三二一六六一〇七〇〇  
 FAX 〇八三二一六六一五九一一  
 ホームページ <http://www.hikoshima-gu.net>

発行者 **柴田 宜夫**  
 編集者 **山本 光徳**

平成二十五年一月一日

印刷・(株)ナカハラプリンテックス



**お知らせ(※注意事項)**

「正月飾りは二月十二日(土)迄ご持参下さい。」  
 ※どんど焼きは一月十三日(日)午前中執行致します。  
 十三日(日)正午以降正月飾りは二回受付致しませんので、予めご了承下さい。

一、正月飾りのみかん、ダイダイ、鏡餅は持参しないで下さい。

一、神社のお札、お守、破魔矢、縁起物のみ受付致します。正月期間は指定の古札納所へ納めて下さい。

古札納所解体後は、社務所までご持参下さい。

※ビニール袋はお持ち帰り下さい。

一、神社とは関係ない物の持ち込みはお断り致します。

※結納品、人形、仏壇仏具、民芸品等は一切お断り致します。

※二十四時間、防犯カメラが作動しておりますので、持参禁止該当物を無断投棄されまますと確認次第お持ち帰り頂きますので、留意下さい。

彦島八幡宮オリジナル祭事暦

数に限りがございますので、ご希望の方は、お早めに、社務所までお問い合わせください。無料。(タテ六三cm / ヨコ四六cm)